

強い農業づくり交付金事業 について

実施年度	市町名	対象品目	事業内容	ページ番号
平成 27 年度	三豊市	落葉果樹	集出荷貯蔵施設整備	2
平成 27 年度	坂出市	レタス、ブロッコリー	集出荷貯蔵施設整備	3
平成 28 年度	三豊市	米麦	産地管理施設整備	4

平成27年度強い農業づくり交付金（産地競争力の強化）計画の概要

市町名	地区名	事業主体	事業実施期間
三豊市	三豊地区	香川県農業協同組合	平成27年度

事業計画の概要

（課題）

高瀬地区は、丘陵地を中心に「もも」「ぶどう」「かき」並びに「キウイフルーツ」等の落葉果樹産地を形成している。

これら落葉果樹は、高瀬及び香川麻撰果場で集荷・共同選果を行い、高品質果実を「さぬき讚フルーツ」としてブランド化を推進し、卸売会社との契約取引を進めるなど、有利販売に取り組んでいる。

しかし、両選果場の非破壊式選果機は、果皮付近の糖度しか計測できない「旧式の反射型」であり、果皮色を測定する「カラーグレーダー」を装備していないため、総合的な果実品質の評価が不可で、高品質を求める消費ニーズへの対応が遅れている。

また、優良品種への新植及び改植により、生産量の増大が見込まれる中、両選果場の老朽化と予冷库などの鮮度保持施設の不備は大きな課題となっている。

（計画内容）

非破壊選果機の機能強化により、出荷品の品質を斉一化し、消費ニーズに対応した高品質果実の一層のブランド化を進めるとともに、選果場の再編・統合及び鮮度保持施設の整備を行い、県内外の実需者との契約取引を拡大させ、生産者の経営安定を図る。

具体的には以下のとおりである。

- ①高瀬地区における「もも等」の集荷及び選果を「高瀬選果場」に再編・統合するとともに、集荷から出荷に至るまでの鮮度保持のため、「定温保管施設」及び「予冷库」を整備する。
- ②既存の非破壊選果機の「近赤外線測定装置」を果実内部の把握が可能な「透過式」に機能強化するとともに、外観品質を測定する「カラーグレーダー」を新たに装備し、総合的な果実品質の評価により、有利販売を行う。
- ③また、非破壊選果機の機能強化により、「さぬき讚フルーツ」の出荷対応を推進し、「JA高瀬支店もも部会」を新たな制度認証団体に追加することで、ブランド品の作付拡大に弾みをつける。
- ④なお、選果データは、生産者への指導に活用し、品質向上に向けた助言を行うとともに、優良品種の新植・改植を促進する。

施設整備計画

整備内容	受益面積 (ha)	受益戸数 (戸)	事業費 (円)	交付金 (円)	事業の内容
落葉果樹 集出荷貯蔵施設	83	347	151,200,000	59,135,000	集出荷貯蔵施設 ・非破壊選果機 一式 ・予冷库 1基 ・定温保管施設 192㎡

期待される効果の概要

項目	25年度 (現状値)	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (実績値)	29年度 (目標値)	概要
ブランド製品の作付割合の増加	53.8%	53.6%	74.6%	75.3%	75.3%	ブランド製品の出荷割合を21.5%増加
契約出荷割合の増加	35.7%	29.2%	47.7%	73.5%	51.5%	契約出荷の割合を15.8%増加

○選果機の機能強化と鮮度保持施設の整備による有利販売によって、ブランド製品の作付割合は順調に増加している。また、果実品質の斉一化等による市場評価の向上で、契約出荷の割合も増加している。

平成27年度強い農業づくり交付金（産地競争力の強化）実績の概要

市町名	地区名		事業主体	事業実施期間
坂出市	坂出中央地区		香川県農業協同組合	平成27年度

事業計画の概要

（課題）

坂出中央地区では、近年、水田裏作として、レタスやブロッコリーの作付けが急速に拡大している。しかし、レタスは急速な生産拡大により、出荷のピーク時には既存の集出荷場の処理能力を上回るため、新規の作付け制限とピーク時の荷受量の制限があり、穫り遅れレタスの圃場廃棄が発生している。また、ブロッコリーは専用の集出荷場がないため、他作物の集出荷と重なり大変混雑するうえ、ピーク時には鮮度を保つための氷や予冷スペースが不足して、品質の低下が問題になっていた。

（計画内容）

（レタス）

集出荷場を新たに整備し、出荷調製ラインを3ラインから7ラインに拡充した。

これにより、荷受量の制限がなくなり、ピーク時の穫り遅れを防いで単収の増加と担い手によるレタスの作付拡大が図られる。

（ブロッコリー）

これまでレタスで使用していた施設をブロッコリーの荷受場として活用し、予冷库や製氷機を導入した。

これにより、生産者の荷受け時間のロスを取穫作業に充てることができ、適期収穫が実施されるとともに、ピーク時の氷や予冷スペースの確保により、鮮度を保ったまま出荷調整が実施できるため、品質の向上が図られる。

施設整備計画

整備内容	受益面積 (ha)	受益戸数 (戸)	事業費 (円)	交付金 (円)	事業の内容
野菜 集出荷貯蔵施設	(レタス) 75 (ブロッコリー) 180	(レタス) 15 (ブロッコリー) 80	200,880,000	93,000,000	集出荷施設 1,357.63 m ² 調製包装施設 一式 予冷施設 144 m ² 製氷機 1基 (2トン)

期待される効果の概要

項目	25年度 (現状値)	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (実績値)	29年度 (目標値)	概要
(レタス) 10a当たりの販売額	577,610 円/10a	509,314 円/10a	477,563 円/10a	564,529 円/10a	669,840 円/10a	販売額の増加割合を 16.0%増加
(ブロッコリー) 秀品L階級の割合	62.7%	66.9%	63.5%	65.0%	78.3%	秀品L階級の割合を 15.6ポイント増加

- 施設整備により、集出荷支援に対応可能となった。ただし、成果目標（29年度）の評価については、レタスは、台風及び寒波の影響を例年以上に受け収量が減少し、目標未達。ブロッコリーも、台風及び寒波の影響により、秀品L階級品の割合が目標未達であるが、L階級に次ぐ秀品M階級の割合は増加。

平成28年度強い農業づくり交付金（産地競争力の強化）実績の概要

市町名	地区名	事業主体	事業実施期間
三豊市	山本・豊中・財田地区	香川県農業協同組合	平成28年度

事業計画の概要

（課題）

三豊市では、従来から良食味米産地として水稻の栽培を行っているが、近年の生育期間中の高温傾向により、主力品種である「ヒノヒカリ」で白未熟粒が多発し、品質低下が問題となっている。また、山間部ではカメムシの多発に起因する斑点米による落等も見られており、病虫害防除の指導を行っているものの、近年は被害の大きい年が増加傾向にある。

さらに麦についても、コンバイン収穫による異種穀粒や異物（ガラス、プラスチック片）混入が多く見受けられ、異物等の除去が急務となっている。

（計画内容）

宝山・豊中カントリーエレベーターに色彩選別機を整備し、白未熟粒や斑点米の除去による米の品質向上や異物等の除去による麦の高品質化を図る。

施設整備計画

整備内容	受益面積 (ha)	受益戸数 (戸)	事業費 (円)	交付金 (円)	事業の内容
産地管理施設の整備 (分析診断施設)	(米) 803ha (麦) 85ha	1,861戸	29,484,000	12,967,000	色彩選別機一式 (処理量 4,200kg/hr)

期待される効果の概要

項目	26年度 (現状値)	28年度 (実績値)	29年度 (実績値)	30年度 (目標値)	概要
(稲) 1等比率の増加	0.7%	0.7%	33.7%	17.5%	1等比率を16.8ポイント増加
(麦) 1等比率の増加	82.0%	100%	100%	97.0%	1等比率を15.0ポイント増加

○平成29年2月に設備導入が完了し、29年度から本格的に稼働。稲、麦とも1等比率は増加し、高品質化が図られている。